

令和3年度の事業概況

JAたじま自己改革の取り組み状況（協同活動ハイライト）

JAたじまでは、中期計画 Plan 2024 を自己改革プログラムと位置付け、持続的な地域農業の維持・振興とくらしやすい地域社会の実現に向けて、総合事業を通じた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組みました。

I. 多様な担い手農家の所得増大

取組事項	具体的施策	令和3年度の取組状況・実績
品質と収量向上につながる営農指導の実践と販売の拡大	コシヒカリの作付方法の改良とJA集荷の拡大	令和3年産米集荷実績 347,128袋（前年対比97.6%） 1等米比率86.3%（前年49.5%）
たじまピーマンの生産拡大と所得の向上	ピーマン栽培技術の向上と収量増大	ピーマン出荷実績 663.4t（前年対比118.3%）
予約購買のメリット最大化	大型規格農薬の導入推奨	大型規格資材利用人数 80人（面積換算956ha）
朝倉さんしょの生産・販売拡大	周年販売の強化	出荷数量 17.3t（前年対比77.8%） 冷凍さんしょを活用した販路の拡大
各種補助事業を活用した繁殖雌牛の増頭	牛舎の整備、畜産クラスター事業の拡大	管内の繁殖雌牛（育成牛を含む）4,168頭（前年対比42頭増） （令和4年2月1日調査） 畜産クラスター事業 1件実施（豊岡市）

II. 持続的な農業への支援

取組事項	具体的施策	令和3年度の取組状況・実績
農業者・担い手への有利な金融・共済サービスの提供	低利な農業資金の提供	営農資金貸出 139件 5億1,844万円（前年対比135.5%） ・アグリマイティー資金 109件 3億1,872万円 ・美しい村づくり資金 30件 1億9,971万円
スマート農業の推進による作業効率の向上	Z-GISの普及と有効活用	圃場管理システム（Z-GIS）の大規模農家への導入促進（21農家）（前年対比4件増）

III. 地域の生活インフラを担うJAとしてのサービス展開

取組事項	具体的施策	令和3年度の取組状況・実績
短期化する入院期間に合わせた医療保障の普及拡大	新医療共済メディフルの普及拡大	新規契約件数 6,039件
相談・対応機能の向上	Webマイページの活用促進	登録件数 13,577件
次世代層への魅力的な商品の提供	iDeCo、つみたてNISAの普及拡大（新規取組）	CA（コンサルティングアドバイザー）による資産形成・資産運用の提案活動を実施（iDeCo 32件、つみたてNISA 110件）
	ローンプラザの充実による住宅ローン、マイカーローンの拡大	住宅ローン 173件 35億3,872万円（前年対比112.3%） マイカーローン 427件 8億888万円（前年対比99.7%）

IV. 組合員の参画拡大・メンバーシップ向上

取組事項	具体的施策	令和3年度の取組状況・実績
地域ふれあい活動への組合員の参画と活動の充実	地域ふれあい活動の活性化	実施件数 23支店 197件 うち組合員主体の取組 43件
次世代層ファンづくりの強化	あぐりキッズスクールの開催	あぐりキッズスクールは新型コロナウイルス感染拡大防止により開催中止するも、会場別に農業体験イベントを開催（出石、八鹿）

JAたじま還元・助成施策実績

《営農振興支援(助成等)実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	令和3年度
担い手農家助成	出荷者無料貸出用フレコン	4,417
	水稻育苗利用助成	9,481
	CE・RC利用助成	9,751
	肥料・農薬費用助成	8,326
生産振興	・ピーマン畝立て作業委託、拍動かん水装置導入助成	851
	・省力栽培大納言小豆作業料助成	1,015
	・ICT導入支援等	225
	資材店舗での購入金額に応じたポイント還元	2,959
合計		37,025

《畜産振興支援(助成等)実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	令和3年度
経営支援	配合飼料代等助成	2,733
遺伝的多様性の確保	熊波系・城崎系保留助成	550
家畜伝染病対策	消毒液無償配付	228
合計		3,511

《組合員活動支援(助成等)実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	令和3年度
生活文化活動支援	女性会活動等助成	3,682
健康管理支援	町ぐるみ健診費用助成	2,148
組合員活動支援	地域ふれあい活動等助成 (ふれあい感謝デー・組合員主体活動への助成)	3,475
合計		9,305

《利用者還元実績》

(単位：千円)

取組事項	具体的施策	令和3年度
直売所活性化	たじままでの購入金額に応じたポイント還元	6,126

営農事業

お米の振興

- ① 「消費者から求められる米づくり」の拡大に向け、環境に配慮した米や地域の特色を活かしたお米の作付に取り組みました。
- ② 「ふるさと但馬米食味コンテスト」「多収穫米選手権 2021」を実施し、優秀な成績を収めた生産者を表彰するとともに、今後の作付意欲の高揚と、食味の向上・増収に向けて取り組みました。
- ③ コープ自然派との契約による、新たな環境に配慮したお米「ピオトープ米（つきあかり）」の作付と販売に取り組みました。
- ④ 8月の低温など作況悪化（兵庫県北部 97）により、米の集荷実績は計画未達となりました。一方、高温障害の影響が減少したことによりコシヒカリ 1 等米比率は大幅に向上しました。
- ⑤ 関東最大の生協パルシステムの公開確認会をリモートで開催し、生協組合員代表にコウノトリ育むお米の栽培方法や、安全性への取り組みをPRしました。

特産物の振興

- ① たじまピーマンの需要に corres 応するため、生産・出荷指導を強化し、前年より出荷量は伸長しました。
- ② 冷凍朝倉さんしょを活用した商品提案や利用方法など、営業活動で周年販売の強化に取り組みました。
- ③ 担い手農家に向けて、省力栽培大納言小豆の契約栽培の提案・作付拡大に取り組みました。
- ④ 岩津ねぎをはじめとした地域振興品目は、天候不順の影響を受け出荷量は減少しましたが、実需者への事前提案や産地情報を発信するなど販売価格の安定につとめました。

営農指導・利用・資材・農機事業

- ① 担い手農家や営農組織へ、TAC（担い手専門相談員）体制による訪問活動に取り組み、要

望や意見を伺いました。さらに、新しく LINE を利用したりリアルタイムな情報発信にも取り組みました。

- ② 資材コストの低減と作業工程の削減を目的に、育苗センターで箱施用剤入り苗の供給を始めました。
- ③ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、経営継続が困難となった農林漁業を営む個人または法人向けに、令和 2 年度より申請が始まった国の「経営継続補助金」の窓口として事務手続きを支援し、機械・設備の導入や経営の継続支援など管内の農業振興に貢献しました。
- ④ 全農との農機一体化運営により、農機事業の一層のサービス向上につとめました。

たじまんまの活動

- ① 各営農生活センターを巡る集荷ルート便を増便し、店舗の品揃えの充実をはかりました。
- ② 但馬管内飲食店等での地元野菜の使用を広げるため、たじまんま出荷品の業務用販売に取り組みました。
- ③ 創業 10 周年を迎え、より魅力ある売り場づくりを目指して、但馬らしさを PR する壁面装飾の施行や売り場面積の拡大など、店舗リニューアルを行いました。

畜産事業

繁殖和牛・但馬産肥育牛の振興

- ① 子牛平均価格は、相場の回復により前年対比 112.5%となりました。
- ② 子牛の出場頭数の増加に伴い、8 年ぶりに 2 月の子牛市を開催し、価格の安定につとめました。
- ③ 畜産クラスター事業や生産基盤拡大化加速事業（肉用牛）など、各種補助事業を活用して繁殖雌牛の増頭につとめました。
- ④ 第 103 回兵庫県畜産共進会が但馬家畜市場で開催され、種牛の部では上位 5 頭を但馬勢が独占するなど、優秀な成績を収めました。

- ⑤ JA たじま主催の神戸ビーフ枝肉共励会を年間5回開催し、神戸牛、但馬牛ブランドの一層の評価向上に取り組みました。

但馬牛のブランドを高める肉の店

- ① ふるさと納税やインターネット販売に取り組み、但馬牛の魅力を全国に発信しました。

福祉・経済・生活事業

くらしに安心を与える福祉事業

- ① いなほの里とおおばの里では、「ふれあい農園」を設置し、利用者による収穫体験や収穫した作物を食材にした食事の提供を行いました。
- ② 認知症への理解を広げる活動として、組合員向け広報誌「リレーション」で特集記事を掲載したほか、たじま JA 女性会では研修会を実施しました。

くらしの安全・安心を守る生活購買事業

- ① 国産原材料を中心とした、安全・安心でくらしに役立つ商品を「JA くらしの宅配便」を通じてたじま JA 女性会員や組合員に届けました。

快適で環境にやさしいLPガス事業

- ① 高齢世帯を中心に、器具の点検と安全機能説明を行う「シルバーサポート活動」に取り組みました。
- ② 支店や営農生活センターの行事に合わせてガス器具の展示会を11会場で開催し、最新器具の提案を行いました。

旅行事業・健康管理事業

- ① 城崎温泉あさぎり荘等にて「但馬牛すき焼きプラン」を企画実施し、但馬牛の地産地消に貢献しました。
- ② 但馬空港推進協議会と共同で、地元コウノトリ但馬空港発着の「世界遺産を巡る『屋久島』の旅」を企画実施しました。

- ③ 組合員の健康管理の一環として、町ぐるみ健診、特定健診を実施しました。

信用事業（地域密着型金融への取り組み）

よりよい農業経営に向けた農業融資・税務相談

- ① 農業者のメインバンクとして、支店とTACが連携して「アグリマイティー資金」の融資に積極的に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた農業者に「美しい村づくり資金」による資金繰り支援を行いました。
- ② 農業所得の税務相談に対応するため、組合員向け確定申告セミナーを開催しました。

くらしに寄り添うJA貯金・JAローン

- ① 広域合併20周年記念定期貯金キャンペーンを展開し、多くの方に利用いただきました。
- ② 新たに年金を受給される方など、多くの方に年金の受給口座をJAに指定いただきました。

便利でお得なサービス

- ① スマートフォンから口座残高や入出金明細などがタイムリーに確認できる「JAバンクアプリ」や、パソコンやスマートフォンを利用して振込や照会ができる「JAネットバンク」を提供しました。
- ② JA たじま年金友の会会員限定サービスとして、年金定期貯金や誕生日・喜寿・米寿のプレゼント、現金宅配サービスを実施しました。また提携店舗でご利用いただける割引クーポンを配布しました。

充実の相談活動と安心なつながりづくり

- ① 「TA（トータルアドバイザー）」を1名配置し、組合員・利用者ニーズと資産状況に対する総合的な相続対応等のサポート活動を実施しました。
- ② 「CA（コンサルティングアドバイザー）」を5名配置し、資産形成・資産運用の提案活動

を実施しました。

共済事業

ひと・いえ・くるまの総合保障の拡大

- ① 3Q 訪問活動を通じて保障ニーズに応じた提案を行い、保障の普及拡大に取り組みました。
- ② 水害や雪害、地震などの自然災害に備えるため建物更生共済「むてきプラス」「My 家財プラス」の普及に取り組みました。
- ③ 共済代理店と連携し、自動車・自賠責共済の普及拡大に取り組みました。

相談・対応機能の向上

- ① 組合員・利用者の利便性向上のため「Webマイページ」「JA 共済アプリ」の登録・活用促進に取り組みました。
- ② 交通事故などに関して安心してご相談いただけるよう、弁護士による交通事故相談活動を実施しました。
- ③ 大規模災害発生時に備えて損害調査体制の充実につとめました。

地域貢献・SDGs・カーボンニュートラル

- ① 「JA たじま杯」として小学生のスポーツ大会（少年サッカー、小学生バレーボール、少年野球）に協賛し、スポーツを通じた健康づくり、仲間づくりを応援しました。
- ② 直売所の包装資材を順次植物由来の樹脂（バイオマスポリエチレン）へ変更するなど、さらに環境に配慮した取り組みをすすめました。
- ③ たじまんまを通じて、こども食堂へ食材の無償提供を行いました。

広報・教育・組織活動

広報活動

- ① 組合員広報誌「リレーション」をとおして、組合員の活動や JA たじまの活動を広く知っていただくための誌面づくりにつとめました。

教育・学習の活動

- ① 食や農のつながりを楽しく学び、農業に興味を持ってもらえるよう農業体験イベントやちやぐりんフェスタを開催しました。

組織活動

- ① 地域活性化や地域貢献を目指して、組合員・地域ふれあい委員会、役職員が協力して、食農教育や健康増進活動など「地域ふれあい活動」に取り組みました。
- ② たじま JA 女性会では、家庭で未使用のタオルを介護施設へ寄付する活動（タオル 1 本運動）など、JA 福祉事業への貢献に取り組みました。

多様な組合員の意見を反映した JA 運営

- ① 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地区別総代懇談会は中止しましたが、総代に向けて JA の取り組みや令和 2 年度決算に関する意見とりまとめをし、総代会や個別での回答・対応を行いました。

JA の経営基盤の確立・強化

組織

- ① 広域合併 20 周年記念事業の一環として、豊岡製のエコバッグを制作し、組合員へ配布しました。また、地産地消を目的とした「たじまんま おにぎりコンテスト」を 3 回開催しました。

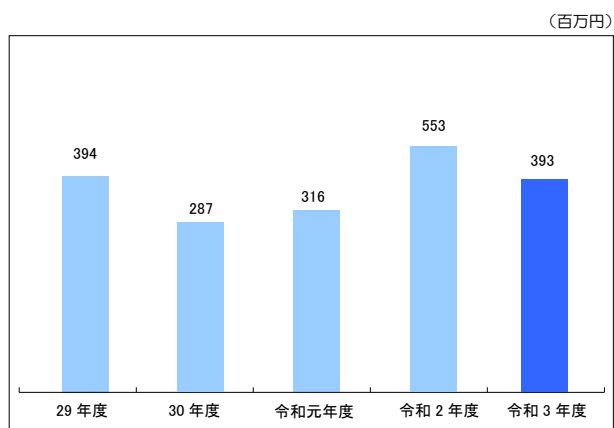
経営

- ① 不祥事の再発防止策として、各種研修によるコンプライアンス意識の向上や、業務マニュアルの運用徹底による内部統制の強化に役職員全体で取り組みました。
- ② 組合員や利用者、地域の方々から選ばれる組織、職員の育成を目指し、全役職員でビジネスマナーの向上に取り組むため「マナーコンパス」を作成し、配布しました。

令和3年度の主な業績について

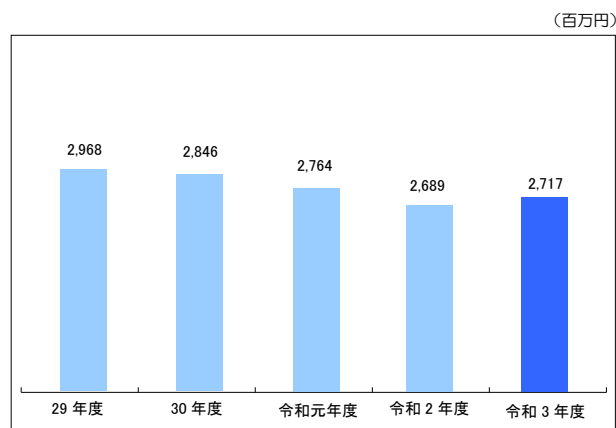
■事業利益

3億9,345万円



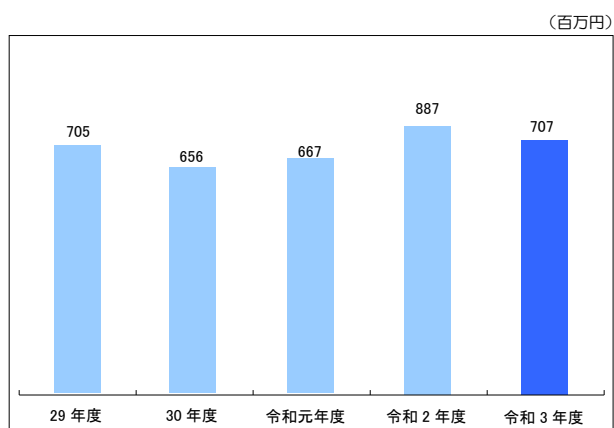
■購買品供給・取扱高

27億1,751万円



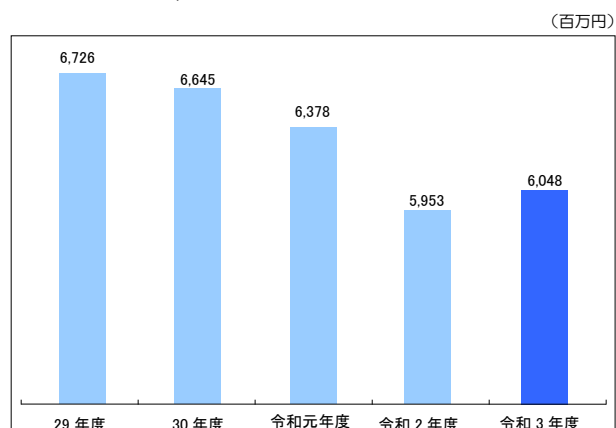
■経常利益

7億719万円



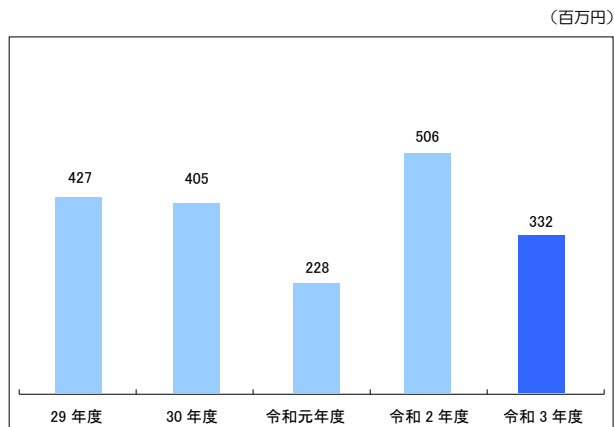
■販売品取扱高（受託販売）

60億4,864万円



■当期剰余金

3億3,257万円



J Aたじまでは、平成25年度決算にかかる配当より、出資配当に加え、新たに事業分量配当を導入しています。

これは、「協同組合は利用者組織であり、組合員の事業利用によって生み出された剰余金は出来る限り組合員事業利用者へ還元する」という考えから導入したものです。

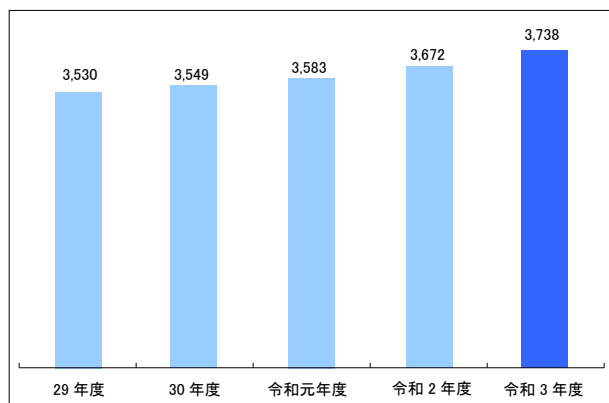
配当基準等については、49ページの剰余金処分計算書をご覧ください。

令和3年度の主な業績について

■貯金残高

3,738 億 8,450 万円

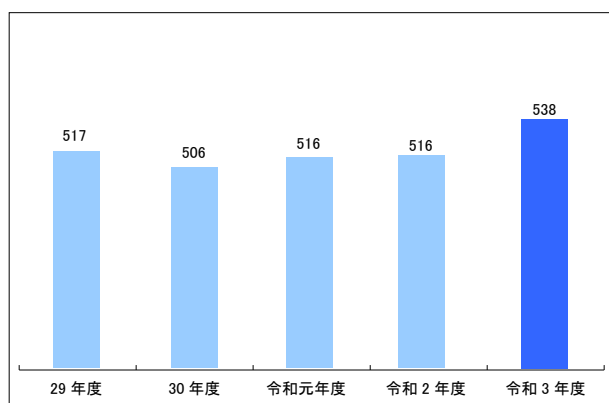
(億円)



■貸出金残高

538 億 5,929 万円

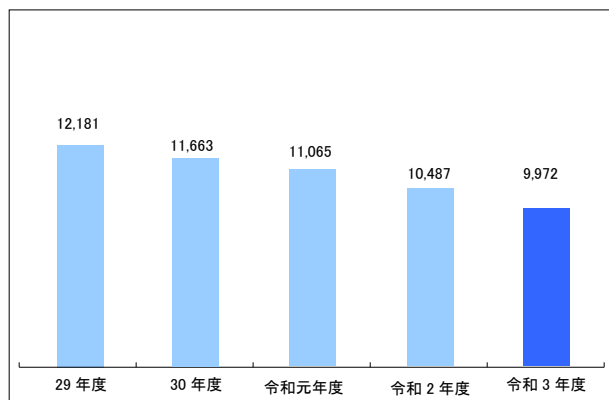
(億円)



■長期共済保有高

9,972 億円

(億円)



令和3年度の自己資本の状況

■自己資本比率

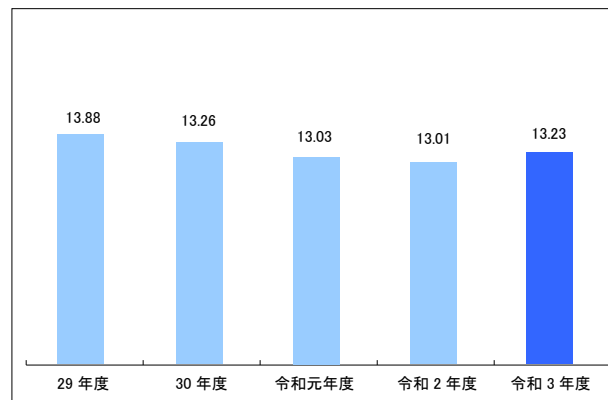
13.23%

当 JA では、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保につとめるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和4年3月末における単体自己資本比率は、13.23%となりました。

※ 国際統一基準（バーゼルⅢ）を踏まえた「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」（平成18年金融庁・農水省告示第2号）に基づき算出しています。）

※ バーゼルⅢは海外営業拠点を有する金融機関が対象となっており、農業協同組合はその拠点を海外に有しないことから、上記基準が示す自己資本比率は4%以上（国内基準）とされています。

(%)



■普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	たじま農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る 基礎項目に算入した額	4,302 百万円 (前年度 4,289 百万円)

自己資本の詳細については、62 ページをご覧ください。